

～～第8661回～～

登山教室

～H31.4.7～

本年度1回目の登山教室がアイセル21で行われた。参加は講師も合わせて17名であった。会長の講話の後、初級・中級A、Bの3コースに分かれて講義を受けた。

(初級) 初級登山教室では、まず参加者の山のキャリア等を含めた自己紹介から始まった。SWVのプロフィール(会則・会員の心得)について説明があり、教本「楽しい登山」で登山の楽しさ、厳しさ、問題点などを学んだ。次に最近のワングルにおける事故事例の説明があり、ケガ、事故は他人事では無いという認識を持った。また山行の基礎知識・登山技術や地形図の読み方、ザック・雨具等々登山装備については現物を見ながら説明を受けた。最後に「山のリスクマネジメント」(危機管理)の重要性について説明があり、とても参考になった。この講習会で学んだことを活かしてこれからも安全で楽しい登山を心掛けようと思った。

(中級A) 資料「山での応急処置」に基づき講義が進められた。冒頭山岳事故の傾向については「山登りのベテランの過信による事故が多い」「自分の技術を過信しないこと」などの話があり、続いて山での応急処置の基礎知識として応急処置方習得の必要性・一般的注意事項・応急処置の流れにつて解説があった。山では一般の登山者が応急処置をしなければならず、適切な処置を行うためには応急処置法習得の必要性があること。ケガに対する応急処置では基本原則から骨折まで6項目あり、冷やす、温めるの処置時期の違い等詳細な解説があった。その他病気に対する応急処置・病人とけが人の寝かせ方・傷の洗浄と止血法を学んだ。高山病は寝ない方が良いと解説があったが、「仲間が頭痛・吐き気等の症状で山小屋に休憩を頼んだことがあった、小屋番から寝てはいけなと言われたことを思い出した。」実技指導では搬送法・テーピングを実際に行った。いまだに覚えきれておらず反復練習が必要である。

(中級B) 静岡まつりと満開の桜でにぎわう駿府公園そばのアイセル21で、初級、中級A、中級Bの3クラスが開催された。9:30から全体講義があり、勝美鉦雄会長のお話があった。当会は今年59年目となる。当初は800名を超す会員がいたが、近年は300名を切る。是非、仲間を誘って欲しい。また、山には危険がひそんでいる。安全ということはない。過信は禁物。超ベテランでも命を落としている。低山といえども遭難する。その後、各クラスに分かれて受講。私は中級Bに参加。『楽しい登山』を輪読しながら、講師のコメントをお聞きする。当会では、リーダーが先頭となり、フォロワーが後ろでサポートする体制を取っている。山は状況が変化しやすい。リーダーの判断・指示に従い、体調がすぐれないと思ったら無理しない。11:40 昼食。12:10 午後の講義開始。地形図の読み方とコンパスの使い方を勉強。地形図を使って、尾根筋を緑、谷筋を赤のカラーペンで色分けし、山容が確認できることを知った。続いて、テントの張り方、たたみ方を、6人用、2人用を使って学んで終了した。14:00。講義の全てが勉強になったが、

特に地形図の読み方、見方が勉強できてよかった。

参加者：17名（静岡北4、静岡東1、静岡西2、焼津3、袋井1、磐田3、講師3）

天気：晴れ

地図：静岡東

コースタイム：930-1500

記録：初級静岡北支部原川、中級A静岡北支部恩田、中級B袋井支部永井



全員での講話